

令和7年度 中学生の「税についての作文」

柏税務署管内納税貯蓄組合連合会 ・ 柏税務署

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞

なぜ脱税をする人は減らないのだろう

我孫子市立我孫子中学校 第3学年 小池 佐季

税金は私たちの生活を支えるために必要な資金を集める大切な手段です。道路や学校、病院など私たちが日々利用する公共サービスやインフラは税金で支えられています。しかし、税金を納めることは私たちの義務であるにも関わらず脱税をする人が減らない現実があります。では、なぜ脱税をする人は減らないのでしょうか。そして、脱税を減らすためには何が必要なのでしょう。

脱税が減らない理由の一つに税制の複雑さがあります。日本の税法は非常に複雑で特に自営業の人や企業の経営者にとっては、どのように税金を申告すればよいかがわかりづらいことがあります。税法が頻繁に改正されるため、最新の情報を常に追いかけることは難しく、その結果誤って税金を納めないことがあります。このような税制の複雑さが、脱税を引き起す原因となっているのです。また、脱税をする人が減らない理由として、税金の負担感も無視できません。税金は私たちが稼いだお金から直接引かれます。そのため納税者は税金を少しでも減らしたいと考えることがあります。特に収入が多い場合、税金の額が大きくなるためその額を減らすために脱税をしてしまうことがあります。このような経済的な誘惑が脱税を助長しているのです。さらに、脱税に

対する罰が甘いと感じることも脱税が減らない理由の一つです。脱税が発覚した場合、罰金や刑罰が科されることがありますが、それでも「ばれなければ大丈夫」と考える人が一定数いるのが現実です。税務署がすべての納税者を細かくチェックすることは不可能であり、小規模な脱税は見逃されがちです。このようにリスクを冒しても脱税をしてしまう人が減らないのです。

では、脱税を減らすにはどのような対策が必要なのでしょう。まず第一に税制の簡素化が求められます。現在の税制は非常に複雑で特に一般の人々には理解しづらい部分が多いです。税金の計算方法や申告方法が簡素化され納税者が誤って脱税をしないようにすることが必要です。例えば税務署が提供するサポートを強化し納税者が簡単に税金を納めることができるようにすることが有効だと考えます。また、透明性の向上や罰則強化と監視、インセンティブなども有効だと考えられます。脱税が減らない理由は、税制の複雑さや税金の負担感、さらには脱税に対する罰則の甘さなどさまざまな要因があります。これらの問題を解決するには税制を簡素化し税金の使い道を透明にすることが大切です。また税務署の監視体制を強化し脱税に対する罰則を強化することも必要です。さらにインセンティブを提供することで税金を正しく納める人が増えるようになるでしょう。社会全体で脱税を許さない風潮を作り、納税の重要性を再認識することが脱税を減らすための鍵となります。これらの対策を講じることにより健全で公平な税制が実現できると私は考えます。

